

事業用大規模建築物における再利用計画書 (記入例)

1 令和 年 月 日

練馬区長 殿

建築物名称 **商事ビル**
 建築物所在地 **練馬区 豊玉北 6 - 12 - 1**
 所有者住所 **練馬区 豊玉北 6 - 12 - 1**
 2 所有者氏名 **代表取締役 練馬 太郎**
 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

練馬区廃棄物の処理および清掃に関する条例第37条第3項の規定により、事業用大規模建築物における
 年度の再利用計画書を以下の通り提出します。

建築物の属性				
地上 20 階 ・ 地下 1 階 ・ 事業用延べ床面積 6500 m ²	建築物の用途			
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等(下4行に記入)	事務所	1 社	4000	m ²
建築物の名称	店舗(飲食店を除く。)	1 店	500	m ²
建築物の所在地	飲食店・ホテル・式場	2 店	350	m ²
階数(地上・地下)	工場・研究施設	所		m ²
事業用延べ床面積	倉庫・流通センター	所		m ²
当該建築物を使用している事業者(テナント等)の名称(別紙添付可)	医療機関・福祉施設	2 所	650	m ²
印刷 屋 レストラン 歯科医院 医院	教育施設	所		m ²
在館人員 従業員(テナント従業員を含む) 2000 人 計 4	その他		1000	m ²
外来者(通学者を含む) 300 人 2300 人	建築物の合計		6500	m ²
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量および再利用の現況 ・ ミックスペーパーBOXの設置により、雑紙の回収量が増えている。 ・ 分別ボックスを各フロアに設置し、紙の再利用率が上昇している。
一般廃棄物	興業(株)	1234	清掃工場	
産業廃棄物	興業(株)	4567	商事(株)	
医療系廃棄物	(株) 商会	8910	産業(有)	
再生資源の種類	再生資源回収業者		持込先	
紙類	商店(株)		紙業(株)	
廃油	油脂(株)		油脂(株)	
びん類	興業(株)		(株) 商事	
缶類	興業(株)		(有) 商店	
ペットボトル	(有) 運輸		商事(株)	
廃プラスチック	興業(株)		精機(株)	
今年度の目標				廃棄物管理責任者
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由 ・ 外来者の増加にともない持込ごみが増加した。 ・ 業績の向上により、OA紙の使用量が増加した。 ・ ミックスペーパー方式の導入により、紙類の排出量が減少した。				選任年月日 年 月 日
2 ごみ減量および再利用についての今年度の目標 ・ 再利用率を全体で5%向上させる。 ・ 紙類の発生量を前年比10%削減する。 ・ OA紙の裏面利用を向上させる。				会社名 商事株式会社
3 今後の具体的取り組みについて ・ 各部門ごとの再利用状況を5段階評価し、毎月発表する。 ・ 分別方法の再確認を行う為、テナント責任者の合同会議を開催する。 ・ 従業員、外来者ともにごみを持ち込まないIPRを行う。				所在地 〒 123 - 4567 練馬区豊玉北6-12-1
				所属名・職名 施設管理課長
				ふりがな とよたま いちろう
				氏名 豊玉 一郎
				電話番号 1234 - 5678
				(内線) 999

- 本計画書の作成年月日を記入してください。
(再利用計画書の提出締切り日は、条例で毎年5月31日にさだめられています。)
- 当該建築物の「所有者」を記入してください。
また、本計画書にはテナントが独自に処理している分も含め、建築物全体の廃棄物について記入してください。
- 複数の建築物を一括して提出することができるのは、同一敷地内または近接地において共通の用途に供せられ、廃棄物の処理および保管が一体として行われている建築物に限ります。
- 在館人員の欄は、1日の平均の人数を記入してください。

(記入例)

「発生量」と「再利用率」の数値を入力すると、「廃棄量」「再利用率」「対前年度」は自動計算されます。

機密性を保持したまま処理した文書類です。
(溶解処理等)
シュレッダー処理した機密文書は含みません。

ミックスペーパーとは…
封筒やメモ紙、包装紙、
名刺、ハガキ、紙容器、
タバコの空き箱など。

シュレッダーくずは、再利用
されている場合もあります。
(ミックスペーパーで回収)
回収業者に確認してください。

びん・缶・ペットボトルは
自販機設置業者が回収する
分も含みます。

金属、ガラス、陶磁器等
～ の再利用にまわせない
不燃ごみ・焼却不適物。

特定業種の産業廃棄物
「木くず」「紙くず」「繊維くず」
など。

廃棄物の処理および清掃
に関する法律施行令第2
条において、排出事業者
の業態が特定されている

種類		年度区分		前年度実績 (年4月～ 年3月)				今年度計画 (年4月～ 年3月)				対前年度 (今年度計画 - 前年度実績)		
		発生量 (A)	処理区分		再利用率 (B÷A×100)	発生量 (D)	処理区分		再利用率 (E÷D×100)	発生量の増減 (D - A)	再利用の増減 (E - B)	廃棄量の増減 (F - C)		
			再利用率(B)	廃棄量(C)			再利用率(E)	廃棄量(F)						
事業系廃棄物	可燃物	紙類 (再生利用物)	コピー・OA用紙	12 t	9 t	3 t	75.0 %	11 t	11 t	0 t	100.0 %	-1 t	2 t	-3 t
		機密文書等()	6 t	6 t	0 t	100.0 %	5 t	5 t	0 t	100.0 %	-1 t	-1 t	0 t	
		雑誌・パンフレット・色付き紙	8 t	8 t	0 t	100.0 %	5 t	5 t	0 t	100.0 %	-3 t	-3 t	0 t	
		新聞紙・折込チラシ	2.4 t	2.4 t	0 t	100.0 %	4 t	4 t	0 t	100.0 %	1.6 t	1.6 t	0 t	
		段ボール	3.5 t	3.5 t	0 t	100.0 %	3 t	3 t	0 t	100.0 %	-0.5 t	-0.5 t	0 t	
		ミックスペーパー	1.2 t	1.2 t	0 t	100.0 %	1 t	1 t	0 t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0 t	
		その他 (シュレッダーくず)	3 t	0 t	3 t	0.0 %	2 t	0 t	2 t	0.0 %	-1 t	0 t	-1 t	
	紙類小計(~ の合計)	36.1 t	30.1 t	6 t	83.4 %	31 t	29 t	2 t	93.5 %	-5.1 t	-1.1 t	-4 t		
	その他	生ごみ(茶殻、残飯等)	2.4 t	0 t	2.4 t	0.0 %	2 t	2 t	0 t	100.0 %	-0.4 t	2 t	-2.4 t	
		木・草・繊維等(~ 以外)	1.2 t	0 t	1.2 t	0.0 %	1.2 t	0 t	1.2 t	0.0 %	0 t	0 t	0 t	
可燃物合計(~ の合計)		39.7 t	30.1 t	9.6 t	75.8 %	34.2 t	31 t	3.2 t	90.6 %	-5.5 t	0.9 t	-6.4 t		
不燃・焼却不適物	再生利用物	飲食用びん類	1 t	0 t	1 t	0.0 %	1 t	1 t	0 t	100.0 %	0 t	1 t	-1 t	
		飲食用缶類	2 t	0 t	2 t	0.0 %	2 t	2 t	0 t	100.0 %	0 t	2 t	-2 t	
		ペットボトル	2 t	0 t	2 t	0.0 %	2 t	2 t	0 t	100.0 %	0 t	2 t	-2 t	
		食用油	0.5 t	0 t	0.5 t	0.0 %	0.5 t	0.5 t	0 t	100.0 %	0 t	0.5 t	-0.5 t	
		廃プラスチック	1.3 t	1.3 t	0 t	100.0 %	1 t	1 t	0 t	100.0 %	-0.3 t	-0.3 t	0 t	
		その他 ()	t	t	t	%	t	t	0 t	%	0 t	0 t	0 t	
		その他 (不燃ごみ)	2 t	0 t	2 t	0.0 %	2 t	1 t	1 t	50.0 %	0 t	1 t	-1 t	
不燃・焼却不適物合計(~ の合計)	8.8 t	1.3 t	7.5 t	14.8 %	8.5 t	7.5 t	1 t	88.2 %	-0.3 t	6.2 t	-6.5 t			
特定の事業活動に伴う可燃物		t	t	0 t	%	t	t	0 t	%	0 t	0 t	0 t		
総合計(~ の合計)		48.5 t	31.4 t	17.1 t	64.7 %	42.7 t	38.5 t	4.2 t	90.2 %	-5.8 t	7.1 t	-12.9 t		

備考 数量については、トン単位(1t=1,000kg)の小數第2位を四捨五入し、小數第1位までの表示にしてください。臨時に排出する什器類(大型・粗大)については記載しないでください。

ごみ処理・リサイクルフロー図 《 記入例 》

建築物名

商事ビル

年 月 日現在

種 別	容器等の配置場所 (表示)	運ぶ人	保管場所での表示	収集運搬業者	中間処分先	および	最終処分先
リサイクルできる紙類 コピー紙・OA用紙	個人ごみ箱	館内清掃業者	コピー用紙	商店(株)	紙業(株)		製紙(株)
同 上 新聞紙・折込チラシ等	3段 リサイクル ボックス		新聞・チラシ				製紙(株)
同 上 雑誌・パンフレット等			雑誌・パンフレット				製紙(株)
同 上 段ボール		各自	段ボール	商店(株)	紙業(株)		製紙(株)
可燃ごみ 紙ごみ等	個人ごみ箱	館内清掃業者	可燃ごみ	興業(株)	清掃工場		
厨芥(事務所) 生ごみ・茶がら等	給湯室(生ごみ)	館内清掃業者	可燃ごみ(生ごみ)	興業(株)	清掃工場		
厨芥(店舗) 生ごみ	調理場(生ごみ)	各店舗従業員					
びん類・缶類	給湯室(びん・缶)	館内清掃業者	びん・缶	興業(株)	(株) 商事		クリーン(株)
	自販機横(びん・缶・ペット)	自販機業者	ポトリング株式会社		(株) リサイクル		工業(株)
ペットボトル	事務所内(ペット)	館内清掃業者	ペットボトル	(有) 運輸	商事(株)		クリーン(株)
食用油(廃油)	厨房内	各店舗従業員	廃油	油脂(株)	オイル工業		
廃プラスチック	プラスチック類	各自	プラスチック類	興業(株)	精機(株)		
不燃ごみ 金属・ガラス・陶磁器等	事務所内(不燃ごみ)	館内清掃業者	不燃ごみ	興業(株)	商事(株)		

再生品利用状況報告 《 記入例 》

品 目		前年度購入量		
		総購入量	古紙配合率 (%)	購入量
コピー用紙 1箱は5包（1包500枚入）を想定。	A 3	20 (箱)	0 %	2 (箱)
			70 %	(箱)
			100 %	18 (箱)
			上記以外 %	(箱)
	A 4	60 (箱)	0 %	5 (箱)
			70 %	20 (箱)
			100 %	25 (箱)
			上記以外 30 %	10 (箱)
	B 4	10 (箱)	0 %	(箱)
			70 %	(箱)
			100 %	10 (箱)
			上記以外 %	(箱)
	B 5	20 (箱)	0 %	(箱)
			70 %	(箱)
			100 %	20 (箱)
			上記以外 %	(箱)
フォーム用紙 請求書、見積書、各種帳票など		請求書 5 (箱)	0 %	5 (箱)
			50 %	(箱)
			100 %	(箱)
			上記以外 %	(箱)
トイレットペーパー		100 (箱)	50 %	(箱)
			100 %	100 (箱)
			上記以外 %	(箱)
文具	・ボールペン	① 再生品のみ利用している。		
		2 再生品以外のみ利用している。		
		3 両方利用している。		
繊維製品	・ユニフォーム	① 再生品のみ利用している。		
		2 再生品以外のみ利用している。		
		3 両方利用している。		

[記入方法]

- ・上記品目の年間の購入量を記入してください。
- ・該当する品目を利用していない場合は空欄にしてください。